

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年6月14日 No.2 国際会議まであと49日

被爆者の想いを広げたい！青年実行委員会準備会開催－広島

原水爆禁止世界大会の青年分科会「被爆者訪問」で、被爆者の方がいる約30カ所の会場へ全国の青年を道案内する活動をしている「核兵器なくそう広島青年実行委員会」は6月8日、第1回準備会を開き、有志7人が集まりました。自己紹介やそれぞれの平和への想い、今年の大会への想いなどを交流し、被爆者の方の証言を聞く機会を多く作りながら進めていくこと、他団体や周りにいる青年にも声をかけて実行委員会自体も広げていくことを確認しました。

参加者からは、「毎回大変な活動ではあるけど、被爆者の方の広がりを大事にしていきたい」「自分たちの活動が情勢も動かす力になっていると自信がもてた」など想いが出され、夏に向けての一步を踏み出す会議となりました。

実行委員会は翌日さっそく「KNS(かくなくせい)ニュース」を発行。6月20日には結成集会も開きます。

平和行進成功を力に世界大会代表派遣目標500人 愛知



行進の成果を示した張り紙と
“原爆の火”(6月11日)

5月31日に静岡県から引き継いだ愛知平和行進は6月11日、岐阜県に引き継がれました。「二度とヒバクシャをつくるまい」という思いが込められた“ヒロシマナガサキ原爆の火”を先頭に行われた12日間の行進には、のべ6000人が参加し、沿道でのカンパは30万円、署名は3500人から寄せられました。

行進7日目の6月6日には、名古屋市内集中行進が行われ、14コース(のべ112km)に2000人以上が参加。核兵器廃絶と普天間基地撤去、憲法9条守ろうの声が名古屋市内全行政区で響き渡りました。この1日だけで565人分の「核兵器のない世界を」署名、66,276円の被爆者募金が寄せられました。

行進のもようは、ブログ「あいち平和行進2010」

(<http://peacewalk.blog78.fc2.com/>)で読むことができます。

愛知県原水協は、この行進成功の力を基礎に、今年の原水爆禁止世界大会には国際会議(20)、広島大会(450)、長崎大会(50)にのべ500人の代表を送りだそうと奮闘しています。

ニューヨークから広島・長崎へ青年主体に一東京自治労連

東京自治労連は5月30日、NPT再検討会議・ニューヨーク行動報告集会を行いました。集会にはニューヨーク行動参加者と送り出した単組代表など約40人がつどい、ビデオ鑑賞やニューヨーク行動の感想を交流し、今後に向けた取り組みの決意などを語り合いました。

参加者からは「色々な国の方が核兵器廃絶を求めていることに感銘を受けた」「唯一の被爆国日本の役割を重く感じた」「ずっと核廃絶なんて、誰か一人の行動ではどうにもならないものと思っていたが、今回のように全体として大きな流れが、夢だと思われた核廃絶へ近づくものへ変える力となったことを体験した」などの感想が出されました。

東京自治労連は、結成20周年事業として100人が参加した「おきなわプロジェクト」の成功を力に、青年をNPTに参加させることを追求し、31人が参加しました。ニューヨークから広島、長崎へ平和を求める運動を引き続き青年が中心となって主体的に取り組んでいくことで、若い力が大きな力となって返ってくると、引き続き「核兵器のない世界を」実現に向けて奮闘することにしています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。